

地震工学委員会・平成 24 年度第 1 回（通算 147 回）運営幹事会議事録

I. 日時：平成 24 年 4 月 23 日（月） 17:20～18:30

II. 場所：土木学会 講堂

III. 出席者：小長井委員長、清野副委員長、秋山旧幹事長、藤原新幹事長、高橋、濱野、目黒、吉見、清田、中島、山本、富田、尾崎（事務局）

IV. 配布資料

幹 147-01 平成 23 年度第 8 回（通算 146 回）運営幹事会議事録（案）

幹 147-02 調査研究委員会の予算配分方法の見直しにつきまして

幹 147-03 平成 24 年度運営幹事会年間計画

V. 議事

1. 前回議事録（案）の確認

- ・ 秋山旧幹事長より資料「幹 147-01」に沿って前回議事録が説明され、承認された。
- ・ 河田委員から、顧問への就任についてご了解の回答を得たと小長井委員長より報告があった。

2. 審議事項・報告事項等

これ以降、藤原新幹事長による司会進行

1) 総会決定事項の確認

- ・ 研究小委員会に関して、新規に認められたもの、終了が認められたものを含め、予算配分等もあるために確認しておく必要がある。

2) 予算配分の見直しについて

- ・ 秋山前幹事長より資料「幹 147-02」の説明があった。平成 25 年度予算配分の試行において、各調査研究委員会への予算配分は、前年度の行事参加者数および出版物購読者数の評価に基づいて行うことが通知された。
- ・ なお、行事収益については、収益を得た調査研究委員会にその 70%が別途配分される。
- ・ 上記の 2 点について各研究小委員会委員長にお知らせする文書の作成を清田幹事に依頼した。
- ・ 常設委員会への出席に係る旅費申請については、その年間計画を運営幹事会に提出し、他の研究小委員会からの要求に基づいて調整する。

3) 年間計画について

- ・ 小長井委員長より、研究小委員会の活動を報告できる場を地震工学研究発表会に設置したいと考えており、その審議のために拡大運営委員会を開催したいという提案があった。

会員へのアナウンスを7月頃に行う必要があるので、審議は6月には行う必要がある。

- ・ 委員会のホームページが更新されていないという指摘があった。これに対しては、メンテナンス作業の容易でない旧サイトから新サイトへ移行する形で高橋幹事が既に対応済である。
- ・ 上記2点、研究小委員会の発表の場を研究発表会に設けることおよびホームページの更新が行われていること第1回拡大運営幹事会の主な議題とする。開催日時は、6月4日15時から、とする。
- ・ 第2回拡大運慶幹事会は、研究発表会に合わせて9月とし、9月10日の週または9月18日の週を目途にする。
- ・ 今年度は、委員長選挙があるので、選挙管理委員会が必要である。委員長は藤原幹事長とし、委員は前回に引き続き高橋幹事、および次回に引き継ぐために清田幹事をお願いすることになった。前は10月頃から動き始めている。
- ・ 学会賞の推薦を忘れないようにすることが大切である。規約では、応募の1カ月前に推薦を行うことになっている。

4) 運営幹事会の体制について

- ・ 運営幹事メンバーに交代は無いため、役割分担は基本的には前年度を引き継ぐこととなった。
- ・ 藤原幹事の幹事長就任に当たり、これまで藤原幹事の担当であった小委員会活動（補助費、諸連絡）を片岡幹事に引き継いでもらうこととしたい。秋山旧幹事長は藤原幹事長の補佐をして頂く。
- ・ 副委員長の役割である地震被害調査担当と地震被害調査小委員会との役割分担が不明瞭であるとの指摘が清野副委員長よりあった。これに対しては地震被害調査小委員会を含む常置の小委員会のメンバーが運営幹事になって頂くのが望ましいと考えられるが、現在は高橋幹事が被害調査小委員会の委員長であるので高橋幹事に地震被害調査担当を一本化する。なお地震被害調査については大規模な地震災害を対象とした学会派遣とやや小規模の地震工学委員会派遣の2つの形態がある。学会全体の派遣の場合は他研究委員会や社会支援部門との連絡調整、場合によっては他学会との調整もあるため地震被害調査小委員会に加え運営幹事会でも情報を共有し必要な議論・調整を行うことが確認された。

（作成 富田）